



# 営農NEWS



## 促成キュウリ栽培で、べと病、褐斑病、うどんこ病などの発生に注意し、防除を徹底しましょう

施設のキュウリ促成栽培では、厳寒期に入り、施設内の環境制御や肥培管理に苦勞されていることと思います。この時期、施設内が多湿で経過すると、べと病や褐斑病が発生しやすくなり、また、施設内が乾燥気味だと、うどんこ病が発生しやすい傾向があります。これらの病害は、葉裏や枝葉の込み合っている場所から発生しやすく、見逃していると、急激な進展がみられることがあります。

病害虫発生予報1月号（病害虫防除所）によると、べと病の発生は、平年よりやや多いと予測されています。

このため、今後とも適正な整枝、剪定作業や肥培管理を行うとともに、晴天の日をねらって予防散布に努め、更に、病害の早期発見と発生初期的確な防除を徹底することが重要になります。

### <防除のポイント>

- 1 施設内の過湿を防ぐため、日中は除湿機の稼働、暖房機の送風などに努め、適正な温湿度管理を行ってください。
- 2 株間の通風をよくする整枝や剪定、樹勢維持のための適切な灌水や追肥など、適正な栽培管理に努めてください。
- 3 発病は、下葉や葉の込み合っている場所の裏葉などを丁寧に観察して、早期発見に努めます。
- 4 病害の発生を確認したら、早期に薬剤防除を行います。散布は十分量の薬液で、葉裏や下葉にもよくかかるよう丁寧に行うことが重要で、夕方までには薬液が乾く時間帯に行ってください。
- 5 既に多発生した場合には、発病葉や茎などをできるだけ除去した後に薬剤散布を行い、病患部に薬液が十分散布できるようにします。
- 6 薬剤耐性菌の出現を抑制するため、同一分類（コード）の連続散布は避けてローテーション散布してください。

表1 キュウリべと病の主な防除薬剤（平成31年1月21日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
プロポーズ顆粒水和剤 ※	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内	うどんこ病、褐斑病、黒星病	40とM5
ジマンダイセン水和剤 ※※	600~800倍	収穫前日まで / 3回以内	褐斑病、つる枯病、黒星病など	M3
カーゼートPZ水和剤 ※※	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内		27とM3
フェスティバルM水和剤 ※※	750~1,000倍	収穫前日まで / 3回以内		40とM3
ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 4回以内		21
ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫前日まで / 8回以内	うどんこ病、灰色かび病、褐斑病など	M5

注1) 表1、2、3の分類欄には、FRACコードを記載しました（コードが2つは混合剤）。同一分類（コード）の連用は避けてください。

注2) 表1、2、3の薬剤名欄※は有効成分TPN、※※はマンゼブを含みます。総使用回数に注意してください。

表2 キュウリ褐斑病の主な防除薬剤（平成31年1月21日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
ジマンダイセン水和剤 ※※	600倍	収穫前日まで / 3回以内	べと病、つる枯病、黒星病など	M3
ベルクートフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 7回以内	うどんこ病、灰色かび病、菌核病など	M7
セイビアーフロアブル20	1,000倍	収穫前日まで / 3回以内	灰色かび病、菌核病	12
ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫前日まで / 8回以内	うどんこ病、灰色かび病、べと病など	M5
フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 4回以内	うどんこ病、灰色かび病	9
ゲッター水和剤	1,500倍	収穫前日まで / 5回以内	灰色かび病、菌核病、炭疽病	10と1

表3 キュウリうどんこ病の主な防除薬剤（平成31年1月21日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	その他の対象病害	分類
モレストン水和剤	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	コナジラミ類	M10
ベルクートフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 7回以内	灰色かび病、菌核病、褐斑病など	M7
サンヨール	500倍	収穫前日まで / 4回以内	べと病、アブラムシ類、ハダニ類など	M1
フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 4回以内	灰色かび病、褐斑病	9
ハチハチ乳剤	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	べと病、アブラムシ類、コナジラミ類など	39
ダコニール1000 ※	1,000倍	収穫前日まで / 8回以内	べと病、灰色かび病、褐斑病など	M5

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



JA全農いばらき

生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040